

「令和元年度第1回 阿見町人と自然が織りなす、輝くまち創生有識者会議」議事概要

審議会等の名称	令和元年度第1回 阿見町人と自然が織りなす、輝くまち創生有識者会議
開催日時	令和元年7月17日(水) 午前10時00分から午後12時30分
開催場所	阿見町役場 4階 全員協議会室
議 題	<p>(1) 第2期阿見町人と自然が織りなす、輝くまち創生総合戦略の策定について</p> <p>(2) 国全体の地方創生の状況</p> <p>(3) まち・ひと・しごと創生基本方針2019について</p> <p>(4) 第1期阿見町人と自然が織りなす、輝くまち創生総合戦略に関する検証の報告</p> <p>(5) 阿見町人口ビジョン(素案)</p>
議事結果	<p>【出席者】 (委員) 牧山委員長, 野口副委員長, 大平委員, 海山委員, 国井委員, 蓮田委員, 成島委員, 江田委員, 山口委員, 木村委員, 田島委員</p> <p>(町) 千葉町長 湯原町長公室長 政策秘書課: 佐藤課長, 糸賀補佐, 高村主任, 宮本主任</p> <p>【主な意見】</p> <p><まち・ひと・しごと創生基本方針2019について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の外国人定住者数, 農業実習生などの外国人来訪者数の把握に努めるとともに, 町に定住している外国人に対しては町との関わりをつくり, 町を訪れる外国人に対しては, 町の良さを伝える取組みを通して, 外国人の定住促進につなげてみるのはどうだろうか。 <p><第1期阿見町人と自然が織りなす、輝くまち創生総合戦略に関する検証の報告について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町にはいくつかの団地がある。その団地が高齢化するのには, 団地に住んでいる人が高齢化するとともに, 団地で育った若い人が戻ってこないことも, 団地の高齢化の要因である。町で育った子どもが戻って来られる, Uターン就職や町での就職ができるように, 雇用を創出する, 雇用を増やすための施策をしっかりと計画に位置づけて取り組むべきである。 ・町の取組みとして, 女性が安心して子どもを産む, 子育てできるという, 子育て支援が大切。母親の居場所づくりであったり, ワンオペ育児の解消といった, 子育てのしやすいまちづくりや子育て支援を明確に示すことが, 町への定住促進を促し, 将来的な人口増加につながるベースを作れるのではないかと思う。女性が安心して暮らせる, 子どもを産み育て町に定着できる, 定住につながるまちづくりを優先的に考えるべきではないか。

- ・常陸太田市は複数の子育て支援策を提示している。阿見町もそのように多様な子育て支援策を打ち出していければいい。また、町の自然を魅力に感じて住む人もいる。次回以降、こういったところも考えられればよい。第二期では子育て支援について明確に支援策を考えていくのはどうか。
- ・総合戦略は、阿見町独自のものを作って、それに賛同してくれる人を増やしていくのがよいと思う。
- ・田舎暮らしの本があるように、阿見町暮らしの本があってもよいのではないかな。
- ・阿見町の子どもの医療費の無償化やランドセルの支給は、子どものいる世帯にとって大変ありがたい。一方、障害者福祉については、もう少し頑張ってもらいたいという思いもある。また、第3子以降の子どもを出産しやすくなる支援もあればよいし、不妊に対する支援もほしい。
- ・障害者福祉、高齢者福祉のさらなる充実は必須だと思う。
- ・他の市町村に負けないよう、福祉を充実させることが大切。
- ・確かに子育て支援については、保育園の新設もあり、阿見町は充実してきている。保育園の新設はうれしいことではあるが、母親としては、子どもを産んで、働かないで子どもと一緒にいたいという声も多く聞く。しかし、女性も働いてほしいという社会の目があり、子どもを預けて無理して勤めている人も多い。子どもが小さいうちは働かないで、きちんと子どもと一緒にいられるような社会にしてほしい。それから、子どもを望む人がきちんと産めるような支援が必要だと思う。
- ・関係人口は重要なキーワード。交流人口から一歩進んだのが関係人口、阿見町のファン、関係人口を増やせるようなアイデア、アニメや映画など、広く阿見町のファンを増やせるものを考えていきたい。

午後 12 時 30 分終了